

校長室便り（第1号）

校訓 『自主』・『責任』・『創造』

教育目標 ①家族や地域を支える「自立」した大人へ ②学ぶ姿勢を持ち続け「成長」していく大人へ
平成31年（2019年）4月26日（金） 熊本県立湧心館高等学校長 郷 慶次

生徒の皆さん、保護者の皆様、こんにちは。校長の郷 慶次（ごう けいじ）です。

全日制、定時制、通信制の3つの課程に学ぶ生徒の皆さんが有意義で良い時間を送ることができるように努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。この「校長室便り」は生徒の皆さんの学校生活の様子をまとめ、他の課程や保護者の皆様にお知らせすることを目的に発行していきます。

《全日制》

4月8日（月）午後2時から入学式を行い、普通科102人、情報処理科40人、合計142人が晴れて全日制課程の生徒となりました。

《定時制》

4月9日（火）午後6時から入学式を行いました。普通科16人、情報科学科情報処理コース4人、情報科学科科学技術コース2人の合計22人が「湧定（ゆうてい）」の仲間となりました。

《通信制》

4月14日（日）午後2時から入学式を行い86人が入学しました。また、新たに109人の生徒も転入・編入学し、本校及び鹿本、人吉、天草、芦北の4校の協力校で学ぶことになりました。4月21日（日）に最初の面接（スクーリング）が行われました。

〈入学式式辞（抜粋）〉

本校は今年度創立40周年を迎えた歴史のある高校であり、生徒諸君の活躍により単位制の本校ならではの伝統を築いている学校です。全日制、定時制、通信制と、特色ある教育を実践している三つの課程を有し、一万を超える卒業生の皆様は、「自主」「責任」「創造」の校訓の下、充実した高校生活を送り、県内はもとより全国各地で活躍をされています。

本校における校訓の「自主」とは、例えば、学習や仕事、生き方等を自らじっくり、しっかり考えて、自らの考えで決めることができる人を目指します。

二つ目の「責任」とは、例えば、高校では、自ら考え、判断、行動し、勉学に励み、単位を修得していくこととなります。自らの考えでより良い方向へと導くことのできる人を目指します。

三つ目の「創造」とは、例えば、前向きな姿勢により、社会で生きていく力を身に付けることです。チャレンジする、挑戦する人を目指します。

本日入学した皆さんが、目標を定め、意欲的な学校生活を送るとともに、郷土熊本やわが国の発展に貢献する人材となって欲しいと期待をしています。今日からの高校生活では、皆さんの周りには、自分とは異なる考えや生活を送っている人が一緒に過ごしていることを知り、ともに過ごす中で、励まし合い、支え合いながら、本校での生活を送って欲しいと願っています。

将来のある皆さんに、是非、言っておきたいことがあります。それは、家族や地域を支える「自立」した大人になって欲しいということ。加えて、一生涯学ぶ姿勢を持ち続け「成長」していく大人になって欲しいということです。毎日働いて、収入を得て、生きていくことは大切なことです。日々の生活の中では人との関係に悩んだり、仕事が思うようにはかどらなかつたりすることもあるでしょう。将来、そのような「壁」や「大きな川」に直面した時、どのように対処するか、どのように解決していくか、それを学ぶのも高校であると思います。

皆さんは、小学校、中学校と九年間の義務教育を過ごす中で、さまざまな力を身に付けてきました。今日は高校生活のスタートの日です。高校生活では、皆さんが持っている豊かな発想力やアイデアを発揮してください。得意な分野を伸ばすと同時に、いろいろなことにチャレンジして、変化の激しい時代を賢く、逞しく生きていく力を得て欲しいと願っています。

本校には多くの先生がおられ、皆さんを見守っています。担任の先生や授業担当の先生、部活動の先生、保健室の養護の先生、スクールカウンセラーの先生、スクールソーシャルワーカーの先生、事務室の先生などに遠慮せずにご相談をしてください。生徒の皆さんは、本校の伝統を受け継ぎ、新たな歴史を築く人材です。入学の喜びと支えてくださっている保護者や周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、いつまでも限りなく成長し続ける人であるように願っています。（写真：正門横の創立30周年記念モニュメント）

